

市報

ののうちの まこと

VOL
55

発行：ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより—March

発行日：2025年（令和7年）3月30日

地域に寄り添うまちづくりに努めてきました

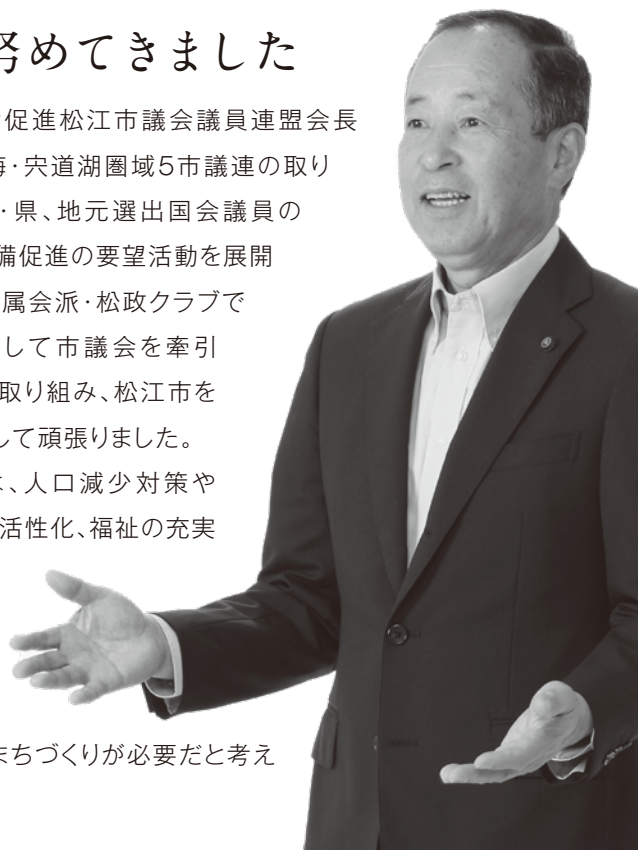
野々内の4期目の議員活動では、東出雲町政時代の企画畑など長年の行政経験で培った知見と構想力、また、4期約14年間の議員活動の経験を糧に、松江市政へのチェックや提言について、総合力を武器として積極的に行ってきました。

4期目前半の2年は、市議会副議長に就任。議長を補佐する役割を果たしつつ、円滑な議会運営と議会の更なる活性化に努めてきました。一般質問は監査委員に引き続き副議長期間も慣例により自粛しました。

4期目後半の2年は、宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員長として、大橋川改修事業や関連するまちづくり事業などに取り組みました。また、山陰新幹線・伯備

新幹線整備促進松江市議会議員連盟会長として、中海・宍道湖圏域5市議連の取りまとめや国・県、地元選出国会議員の皆さんに整備促進の要望活動を展開しました。所属会派・松政クラブでは副会長として市議会を牽引する役割に取り組み、松江市を変える力として頑張りました。

松江市は、人口減少対策や地域産業の活性化、福祉の充実など山積する課題があります。夢を持って地域に寄り添うまちづくりが必要だと考えています。



令和7年度当初予算などを議決 2月定例会市議会

2月定例会市議会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で開会。令和7年度当初予算は、4月の市長選挙を控え概算予算としつつも、一般会計予算の総額は過去最大の1,129億9,000万円（前年度比+6.2%）としました。国の総合経済対策に呼应した物価高騰対策

や、市総合計画の「5つの柱」に沿った施策に重点的に配分したことが特徴です。令和6年度補正予算では、一般会計は37億1,390万円余を増額し、揖屋小学校長寿命化など国の補正予算に呼应した予算などを盛り込み、補正後の一般会計予算総額は1,179億6,658万円余となりました。条例関係では、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に

関する条例制定や市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正などを議決しました。また、陳情「選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての陳情」と、陳情「選択的夫婦別姓制度導入に反対し現行の夫婦同性制度を堅持する意見書提出を求める陳情」は、2件とも否決しました。（予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください）

最近の活動から

献そば式に参列しました

2月11日は「出雲そばの日」。この日は、松江藩主・松平直政が松本藩から松江藩に移ることを言い渡された日を起源としています。松江の出雲そばの振興発展を願う「松江そばブランド化推進協議会」が主催して、月照寺を会場に「松江藩献そば式 松平直政公三六〇回忌法要」が開催されました。

野々内は、松平家においしい松江松平そばを誕生させた経緯から、招待していただきました。それがご縁で「松江そば組合」の相談役を務めています。



御霊屋の前で生そばを手打ちし奉納

小・中・義務教育学校体育館空調設備事業の研修・要望活動

1月28日に東京に出向き「小・中・義務教育学校体育館空調設備事業」の研修と要望活動を行いました。この事業は、近年の自然災害の激甚化・頻発化から、避難所機能を強化し耐災害性の向上が求められたことによります。

国の方針によって、令和6年度補正予算において交付金制度が創設。本市もこれを踏まえて事業に取り組むことにし、全市に偏りなく拠点となる避難所を計画的に整備していくことにし、東出雲中学校体育館などが対象です。

まず、この事業の内容等の研修会を文部科学省担当者から受け、本市の本事業への採択について、地元選出の国会議員の皆さんへ要望活動も行いました。後日、市教育委員会に報告し、事業が進むことになりました。



研修中の野々内

ののうち誠後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.55を発行いたしましたので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ 出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職（平成23年3月に町参事を最後に退職）→平成23年8月松江市議会初当選、令和3年4月4期目当選

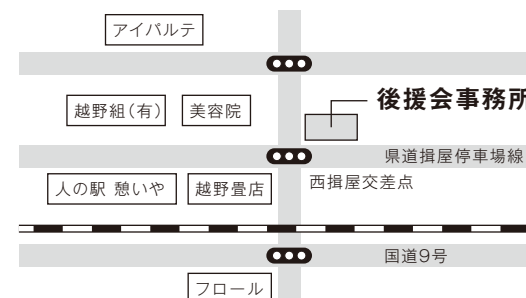
ホームページ、
ブログはこちらから



ののうち誠後援会事務所

ののうち誠後援会事務所を自宅のほかに、東出雲町揖屋「元カフェノビ」に開設し、松江市政への相談や問い合わせに応じています。活動の拠点としてお気軽にお立ち寄りください。

※土日、祝日も開設します。時間は原則午前9時から午後6時まで。



◆後援会事務所◆

〒699-0101 松江市東出雲町揖屋434-1
（元カフェノビ）
電話（0852）33-7903 FAX（0852）33-7904
携帯／080-2901-0569
E-mail: kaeruchikara@Joy.ocn.ne.jp

◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話（0852）52-3117 FAX（0852）52-3117
携帯／090-4690-3600
E-mail: nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi>

通算38回目の一般質問です

3月4日の松江市議会2月定例会での野々内の一般質問（一問一答方式）。その質問と答弁を要約して報告します。

Q1 松江市総合計画について

（1）松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」は、令和4年度から11年までの8年間で期間だが、策定から3年を終える今の課題や実現できたこと等の評価を尋ねる。

この総合計画は、3年前策定時の文面を読むと、非常に簡単でこの表現でよいのか疑問を持つ。例えば未利用公有地の活用では、具体的な場所は示していないが、現在は県立プール跡地活用が検討されている。また、松江のチャレンジでは、JR松江駅前に人々が集う、松江の顔となる広場整備として表記をされている。本市の最上位計画であり、本市が想定したビジョンを明らかにし、具体的なイメージが湧く計画の表現であるべきだと考えるが、所見を伺う。

上定市長 現時点での総合計画の評価を答える。市政の長年の懸案である市役所新庁舎の建設、宿泊税の導入、ガス事業の民間譲渡、土地利用制度の見直しなどについて着実に検討を進め、道筋をつけてきた。加えて、松江駅前デザインや総合体育館周辺エリア未来ビジョン等の検討に取り組んできた。また、景観規制の見直し等、

も来年度から支援制度を新設する予定と伺っている。島根県や近隣市町とも連携し、関係者一体で運転手確保に取り組んでまいりたい。

（2）自動運転バスの取組について

自動運転のレベル4の営業運転が全国でも始まる世の中となった。山陰でも、鳥取市や米子市が実証実験や実証運行を進めるなど自動運転バスの取組が進んできた。本市の営業運転はどのように考えているのか伺う。

永井まちづくり部政策監 本市では、昨年10月にソフトバンク株式会社と事業連携協定を締結し、既存バス路線の自動運転について具体的に検討を進めている。

来年度以降も実証運行を重ね、将来的なレベル4運行によるバス路線の営業運行を目指す。

Q4 総合体育館周辺エリア未来ビジョンについて

（1）総合体育館周辺エリア未来ビジョンの所管部署について

2月17日開会のまちづくり対策特別委員会を傍聴し、総合体育館周辺エリア未来ビジョンについての質疑を拝聴した。執行部答弁は主に都市整備部公園緑地課長で所管の検討目的だけではなく、関連する地域交通や財源問題、多岐の利用用途など、同課の所掌する分野を大きく超える質疑であった。このビジョンの所管部署は、全方位の連携調整ができる

松江らしい景観を保全創出したい。

松浦理事 具体的なイメージが湧く計画の表現についてお答えする。総合計画は、基本構想・実施計画で構成し、市政運営の最も基本となる計画と定めている。総合計画の冊子は、イラストをふんだんに使用するなど内容が分かりやすく伝わるよう工夫した。別冊子の実施計画は、総合計画の具体的な事業の進捗状況や課題等を記載し実施計画と共有している。具体的な事業の関連性や整合性、認識について再考したい。



松江市総合計画の表紙



質問する野々内

政策部の所管ではないかと感じたが、事務分掌は適当であったか伺う。

松浦理事 このビジョンは北公園と県立プール跡地の整備を鋭意検討する必要があることから、北公園を所管する都市整備部と県立プール跡地を所管する政策部が共同で事業進捗に当たっている。

令和7年度以降に取りまとめめるが、産業経済部など関係部が連携をし、政策部がその取りまとめを行うことで事業を進めてまいりたい。

（2）総合体育館周辺ビジョンの検討委員会の委員について

総合体育館周辺未来ビジョン検討会議は、各分野の10名の委員で構成。総合体育館周辺には、くにびきメッセがあるが、委員にはその関係者の名前がない。松江駅前デザイン会議にも一畑デパート関係者が入っていないことと同じ、不可解なこと考える。

くにびきメッセ関係者を総合体育館周辺未来ビジョン検討会議の委員に加えるべきであると思うが、考えを伺う。

松浦理事 令和7年度は、具体的に実現していくための条件整備をするために情報調査を行うこととしている。

くにびきメッセの関係者も含めて具体的な議論を今後進めていくようになると思うが、この際には適宜必要な関係者を交えて議論を進めたいと考えている。

※質問・答弁の詳細は、のつちまこと公式ブログ3月13日付「3月4日の通算37回目の一般質問です」をご覧ください。

Q2 ホーランエンヤの準備状況について

（1）日本三大船神事の松江城山稲荷神社式年神幸祭、通称ホーランエンヤは、市民にとって誇りであり自慢の行事であり、次回は令和11年5月の予定で、あと4年余りに迫った。本市の協賛会や奉賛会などの組織や、五大地等関係組織については検討や準備が進んでいるのか、現状を伺う。

福岡観光部長 阿太加夜神社総代会や五大地の皆様と、前回開催時の反省点や諸課題の解決に向けて随時情報共有している。また、奉賛会と協賛会について、次回開催に向けての協議を開始した。

次回の実施時期は、城山稻荷神社、阿太加夜神社に正式に決定していたことになるが、前回よりも早めに組織設置できるよう努めたい。

（2）中日祭の展示施設の建設検討について

ホーランエンヤは、渡御祭と還御祭、陸船の中日祭を含む9日間の神幸祭で構成をされる。この祭典は、松江ホーランエンヤ伝承館で展示、紹介をされているが、中日祭の解説は僅かな展示となっている。

そこで提案だが、中日祭の陸行列の要の場である旧出雲郷公民館跡地を、中日祭陸船展示と史実資料等を展示する場所として整備することを提案して伺う。

桑原文化スポーツ部長 伝承館の常設

松江市を変える力として野々内が大切にしている4つのこと

まとめる力とつくる力

東出雲町での長年の行政経験で培った知見と構想力、また、4期約14年間の議員活動の経験を糧に、松江市政へのチェックや提言を積極的に行っています。

一般質問と成果

初当選から令和7年2月定例議会まで38回の質問を行いました。（市監査委員・副議長在任中を除く）。一般質問の成果は、福祉や教育、産業振興やまちづくりなど多岐にわたり、数多くの実効のある回答を導きだしました。

議員活動の報告

年4回の後援会だよりの発行（現55号）や、ホームページやInstagramの開設を始め、ブログは2,300件以上の書き込みをし、閲覧者は11万4千人を超えています。（令和7年3月現在）

野々内の取り組んできた姿勢

愛する東出雲町を始め松江市の発展と市民の幸せのために、課題のある地域に入り全力を尽くしてきました。夢を持って課題の解決に取り組むことは重要だと考えています。

野々内の議員活動の一コマ



園城5市の新幹線議連の意見交換会で挨拶



赤い羽根募金運動に協力



大橋川改修に参考とするため、桂川嵐山地区可動式止水壁整備事業を現地視察



松江市農政会議東出雲支部総会で、支部長として挨拶



「面足山万葉公園を守る会」の清掃活動で会長として挨拶



令和元年5月の中日祭

Q3 公共交通の環境整備について

（1）バス、タクシーの運転手養成について

出雲市では、バス事業者やタクシー事業者の運転手確保のために、第二種免許取得支援の補助金制度をつくり、免許取得の支援をしている。運転手養成に積極的な取組を行っていると感じる。本市として、第二種免許取得支援の補助金制度について考え方を伺う。

永井まちづくり部政策監 第二種免許取得費用の支援については、出雲市が質問にある支援を行っているほか、国の支援制度によって島根県において